

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2015年6月2日から2025年7月14日まで。
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として米国で上場あるいは取引されている中小型株式（優先株式を含みます。）に投資を行い、安定的な収益の確保および信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要運用対象	主として、以下の投資信託証券に投資を行います。 ・アイルランド籍外国投資信託（米ドル建て）「ニューバーガー・パーマン・インベストメント・ファンズ・ビーエルシー - ニューバーガー・パーマン・ユーエス・スモールキャップ・インテリシック・バリュース・ファンド」 ・追加型証券投資信託「ユナイテッド日本債券ベビーファンド（適格機関投資家向け）」
組入制限	・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。 ・デリバティブ取引の直接利用は行いません。 ・外貨建資産の投資割合には制限を設けません。
分配方針	原則として年4回決算時（毎年1月、4月、7月および10月の各12日、休業日の場合は翌営業日）に次の通り収益の分配を行う方針です。 (1) 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 (2) 分配金額は、委託者が基準価額水準・市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配を行わないこともあります。 (3) 収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づき運用を行います。

 Japan Asia Asset Management Co.,Ltd.

米国M&Aフォーカス株式ファンド

第6作成期 運用報告書（全体版）

決算日 第10期 2018年1月12日

第11期 2018年4月12日

受益者のみなさまへ

毎々格別のお引き立てに預かり、厚く御礼申し上げます。さて、今般「米国M&Aフォーカス株式ファンド」は、去る2018年4月12日に第11期の決算を行いました。ここに謹んで第10期から第11期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも、お引き立てのほど宜しくお願い申し上げます。

日本アジア・アセット・マネジメント株式会社

東京都中央区日本橋小網町12-7

（お問い合わせ先）

お客様デスク Tel : 03-6892-7150

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.ja-am.jp/>

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近10期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価 額			投資信託 組入比	純資産 産額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 率		
	円		円	%	%	百万円
2期(2016年1月12日)	7,784		0	△10.8	97.2	2,574
3期(2016年4月12日)	7,541		0	△3.1	99.0	2,018
4期(2016年7月12日)	7,631		0	1.2	98.6	1,836
5期(2016年10月12日)	7,709		0	1.0	99.6	1,656
6期(2017年1月12日)	9,382		0	21.7	98.9	1,750
7期(2017年4月12日)	8,998		0	△4.1	99.3	1,471
8期(2017年7月12日)	9,731		0	8.1	99.0	1,319
9期(2017年10月12日)	10,011		180	4.7	96.9	1,104
10期(2018年1月12日)	10,010		340	3.4	98.2	852
11期(2018年4月12日)	9,334		0	△6.8	99.2	729

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドには、その運用手法の特徴から、運用成果の比較対象となる適切な指標がないため、ベンチマーク等はございません。

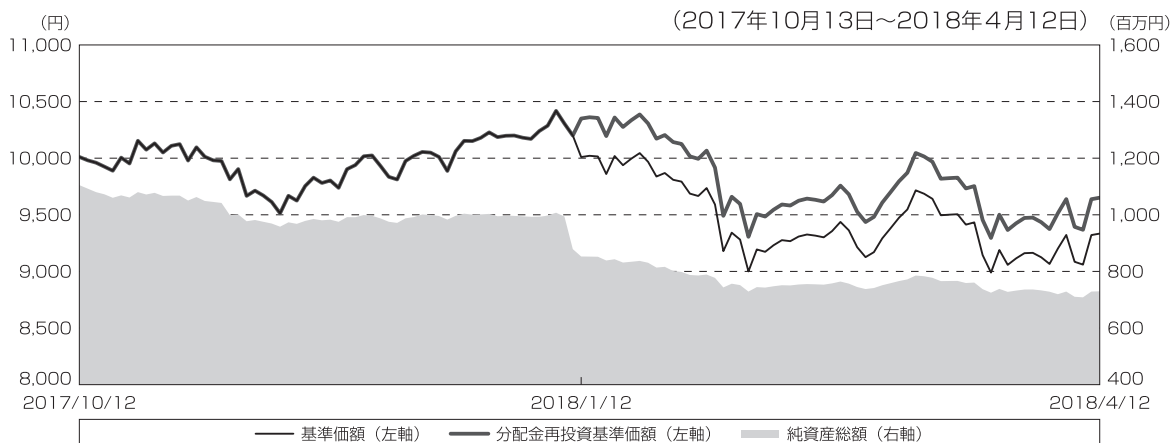
○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額		投資信託 組入比
			騰 落	率	
第10期	(期首) 2017年10月12日	円		%	%
	10月末	10,011	—	96.9	
	11月末	9,979	△0.3	99.7	
	12月末	9,939	△0.7	99.8	
	(期末) 2018年1月12日	10,170	1.6	98.0	
第11期	(期首) 2018年1月12日	円		%	%
	1月末	10,010	—	98.2	
	2月末	9,687	△3.2	99.2	
	3月末	9,363	△6.5	98.5	
	(期末) 2018年4月12日	9,161	△8.5	99.4	
		9,334	△6.8	99.2	

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

○運用経過および今後の運用方針

(1) 作成期間中の基準価額等の推移



第10期首：10,011円

第11期末：9,334円 (既払分配金(税込み)：340円)

騰落率：△3.6% (分配金再投資ベース)

(注) 当ファンドには、その運用手法の特徴から、運用成果の比較対象となる適切な指標がないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、2017年10月12日の値が基準価額と同一となるよう指数化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の変動要因

当作成期の基準価額は下落しました。

(プラス要因)

- ・投資先ファンドにおける、業績好調な一般消費財・サービスセクター銘柄の保有
- ・投資先ファンドにおける、税制改革によって恩恵を受けるとの期待が高まった金融セクター銘柄の保有

(マイナス要因)

- ・投資先ファンドにおける、事前予想を下回る四半期決算発表を行った生活必需品セクター銘柄の保有
- ・為替市場における円高の進行

(2) 収益分配金

第10期から第11期の1万口当たり分配金(税込み)は、第10期は340円とし、第11期は見送りといたしました。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第10期	第11期
	2017年10月13日～ 2018年1月12日	2018年1月13日～ 2018年4月12日
当期分配金	340	—
(対基準価額比率)	3.285%	—%
当期の収益	339	—
当期の収益以外	0	—
翌期繰越分配対象額	150	150

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) 「—」は該当がないことを示します。

(3) 当作成期の投資環境

※米国M&Aフォーカス株式ファンドはニューバーガー・バーマン・ヨーロッパ・リミテッドが運用する「ニューバーガー・バーマン・インベストメント・ファンズ・ピーエルシー - ニューバーガー・バーマン・ユーエス・スモールキャップ・イントリンシック・バリュウ・ファンド」を組み入れているため、投資環境、今後の運用方針等については、同社からの情報も参考に作成しています。

<米国株式市場>

- ・当作成期の米国株式市場は上昇し、米国小型株指数(ラッセル2000指数)は大型株指数(S&P500指数)をアンダーパフォームしました。
- ・利上げ観測の高まりによる長期金利の上昇や、米中の貿易摩擦に対する懸念などがマイナス要因となりましたが、作成期間を通じて米国を中心に世界経済が好調に推移し、企業業績が好調であったことや、法人税減税等の税制改革による恩恵への期待感などが、株式市場の上昇要因となりました。FRB(米連邦準備制度理事会)は2017年12月と2018年3月に利上げを実施しましたが、事前に予想されていたことから株式市場の混乱要因とはなりませんでした。

<為替市場>

- ・当作成期の米ドル・円相場は、米ドル安・円高となりました。
- ・期初1米ドル=112円台半ばで始まった為替市場は、米トランプ政権の政策運営に対する不透明感などから円高傾向となり、2018年3月には一時104円台半ばまで円高が進行しました。作成期末にかけては、朝鮮半島情勢を巡る緊張緩和が期待され、リスク回避姿勢が和らいだことなどから一時107円台を回復し、1米ドル=106円台後半で作成期末を迎えました。

(4) 運用経過

○当ファンド

当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。「ニューバーガー・バーマン・インベストメント・ファンズ・ピーエルシー - ニューバーガー・バーマン・ユーエス・スモールキャップ・イントリンシック・バリュウ・ファンド」を主要投資対象とし、同ファンドの高位組入れを維持して運用を行いました。期末時点で、当ファンドにおける「ニューバーガー・バーマン・インベストメント・ファンズ・ピーエルシー - ニューバーガー・バーマン・ユーエス・スモールキャップ・イントリンシック・バリュウ・ファンド」の組入比率は96.3%、「ユナイテッド日本債券ベビーファンド（適格機関投資家向け）」の組入比率は3.0%となりました。

○ニューバーガー・バーマン・インベストメント・ファンズ・ピーエルシー - ニューバーガー・バーマン・ユーエス・スモールキャップ・イントリンシック・バリュウ・ファンド

- ・ファンドの運用においては作成期を通じて、本源的価値^(注)に対して株価が割安となっており、かつ本源的価値への回帰につながる企業イベントが期待できる銘柄への投資を行いました。
- ・セクター別では、一般消費財・サービスセクターや金融セクターなどがプラス寄与となった一方、生活必需品セクターや資本財・サービスセクターなどがマイナスに影響しました。個別銘柄では、アクティビスト投資家のスターボード・バリュウによる株式の保有が判明し、業績好転に向けた期待感などが台頭したメラノックス（MLNX）、2017年11月-2018年1月期決算と業績見通しが良好だったシエナ（CIEN）等がプラスに寄与する一方、2017年10-12月期決算と業績見通しで中核市場における競争激化が確認されたMACOMテクノロジー・ソリューションズ・ホールディングス（MTSI）、コムキャストとの法廷闘争に大きな進捗が見られなかったティーボ（TIVO）等がマイナスに影響しました。また、当作成期間中、ファンドの保有銘柄である電子決済システム会社のベリフォン・システムズ（PAY）が、テクノロジーセクターに力点を置くプライベート・エクイティ企業であるフランシスコ・パートナーズの率いる投資家グループによる買収対象となりました。
- ・業種別では、資本財等の組入比率を引き下げるとともに、エネルギー等の組入比率を引き上げました。

(注) 「本源的価値」とは、ニューバーガー・バーマンが独自の分析に基づき算出した、その企業が本来有する価値を指します。

○ユナイテッド日本債券ベビーファンド（適格機関投資家向け）^(注)

- ・作成期間を通じてマザーファンド受益証券を高位に組み入れました。
- ・マザーファンドの債券組入比率は、設定・解約時を除いて高位で推移させました。
- ・マザーファンドでは公社債を中心に、4銘柄前後でポートフォリオを構築しました。

(注) ユナイテッド日本債券マザーファンドを主要投資対象としています。

(5) 今後の運用方針

米国株式市場は引き続き神経質な展開が続いており、足元では米中の貿易摩擦に対する懸念が高まっています。一方で、米国による保護主義的な動きは、中間選挙を意識した政治的パフォーマンスであり、実効性のある形で貿易を抑制するような関税や規制が導入される可能性は低いとの見方もあります。マクロ経済環境や企業業績が好調であることから、株式市場は上下しながらも上昇基調を辿るものと考えます。引き続き、本源的価値に対して割安感のある銘柄を発掘し、投資を行うことを維持する方針です。

「ニューバーガー・バーマン・インベストメント・ファンズ・ピーエルシー - ニューバーガー・バーマン・ユーエス・スモールキャップ・イントリンシック・バリュウ・ファンド」では、長期的な業績成長余地が大きい一方で、株価が割安に評価されている企業を中心にポートフォリオを構築しています。引き続き本源的価値に対して割安感のある銘柄を発掘し、投資する運用を維持する方針です。

当ファンドは、引き続き、「ニューバーガー・バーマン・インベストメント・ファンズ・ピーエルシー - ニューバーガー・バーマン・ユーエス・スモールキャップ・イントリンシック・バリュウ・ファンド」の高位組入れを維持しながら、安定的な収益の確保および信託財産の中長期的な成長を目指します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年10月13日～2018年4月12日)

項 目	第10期～第11期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 57	% 0.587	信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(18)	(0.188)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(37)	(0.377)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	74	0.763	その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(ー)	(ー)	海外における保管銀行等に支払う有価証券の保管および資金の送金・資産の移転等に係る費用
(監 査 費 用)	(6)	(0.061)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(11)	(0.114)	目論見書・運用報告書作成、印刷および交付に係る費用
(そ の 他)	(57)	(0.588)	計理業務費用、届出書類作成等費用、公告費用、法律顧問および税務顧問費用、その他費用・手数料等
合 計	131	1.350	
作成期間の平均基準価額は、9,716円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 「その他費用」には、信託財産に関する租税、信託事務の処理に係る諸費用（受益証券等の管理事務、印刷費用、公告費用、監査費用、法律顧問・税務顧問への報酬費用等）、それらに付随する消費税等相当額などを含みます。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示しております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) (ー) は該当がないことを示します。

○売買及び取引の状況

(2017年10月13日～2018年4月12日)

投資信託証券

銘 柄		第10期～第11期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	ユナイテッド日本債券ベビーフンド(適格機関投資家向け)	千口 —	千円 —	千口 1,372	千円 1,500
外国	アイルランド ニューバーガー・パーマン・インベストメント・ファンズ・ ピーエルシー - ニューバーガー・パーマン・ユーエス・ スモールキャップ・イントリンシック・バリュアー・ファンド	—	千アメリカドル —	244	千アメリカドル 2,990

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2017年10月13日～2018年4月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2017年10月13日～2018年4月12日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2017年10月13日～2018年4月12日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2018年4月12日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	第9期末	第11期末		
	口数	口数	評価額	比率
	千口	千口	千円	%
ユナイテッド日本債券ベビーファンド(適格機関投資家向け)	21,645	20,272	21,639	3.0
合計	21,645	20,272	21,639	3.0

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘柄	第9期末	第11期末			比率
	口数	口数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	千口	千口	千アメリカドル	千円	%
ニューバーガー・バーマン・インベストメント・ファンズ・ ビーエルシー - ニューバーガー・バーマン・ユーエス・ スモールキャップ・イントリンシック・バリュアー・ファンド	776	532	6,570	702,489	96.3
合計	776	532	6,570	702,489	96.3

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 邦貨換算金額は当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 国名は、投資通貨と対応する国名を表示しております。

○投資信託財産の構成

(2018年4月12日現在)

項目	第11期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	21,639	2.9
投資証券	702,489	95.5
コール・ローン等、その他	11,668	1.6
投資信託財産総額	735,796	100.0

(注) 比率は投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当作成期末における外貨建純資産(702,489千円)の投資信託財産総額(735,796千円)に対する比率は95.5%です。

(注) 外貨建資産は当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=106.91円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第10期末	第11期末
	2018年1月12日現在	2018年4月12日現在
	円	円
(A) 資産	1,009,202,358	735,796,285
コール・ローン等	18,209,615	11,667,198
投資信託受益証券(評価額)	21,947,284	21,639,138
投資証券(評価額)	815,548,059	702,489,949
未収入金	153,497,400	—
(B) 負債	156,482,231	6,014,382
未払収益分配金	28,962,992	—
未払解約金	121,567,428	—
未払信託報酬	2,999,060	2,227,443
未払利息	183	30
その他未払費用	2,952,568	3,786,909
(C) 純資産総額(A-B)	852,720,127	729,781,903
元本	851,852,721	781,878,948
次期繰越損益金	867,406	△ 52,097,045
(D) 受益権総口数	851,852,721口	781,878,948口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,010円	9,334円

(注) 当ファンドの第10期首元本額は1,103,575,847円、第10～11期中追加設定元本額は7,172,186円、第10～11期中一部解約元本額は328,869,085円です。

(注) 1口当たり純資産額は第10期1.0010円、第11期0.9334円です。

(注) 2018年4月12日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は52,097,045円です。

○損益の状況

項 目	第10期	第11期
	2017年10月13日～ 2018年1月12日	2018年1月13日～ 2018年4月12日
	円	円
(A) 配当等収益	△ 2,903	△ 2,625
受取利息	—	23
支払利息	△ 2,903	△ 2,648
(B) 有価証券売買損益	34,849,836	△46,876,206
売買益	49,641,235	1,303,152
売買損	△14,791,399	△48,179,358
(C) 信託報酬等	△ 5,951,628	△ 6,014,352
(D) 当期損益金(A+B+C)	28,895,305	△52,893,183
(E) 前期繰越損益金	12,831,754	11,702,877
(F) 追加信託差損益金	△11,896,661	△10,906,739
(配当等相当額)	(80,414)	(86,521)
(売買損益相当額)	(△11,977,075)	(△10,993,260)
(G) 計(D+E+F)	29,830,398	△52,097,045
(H) 収益分配金	△28,962,992	0
次期繰越損益金(G+H)	867,406	△52,097,045
追加信託差損益金	△11,896,661	△10,906,739
(配当等相当額)	(80,414)	(86,521)
(売買損益相当額)	(△11,977,075)	(△10,993,260)
分配準備積立金	12,766,970	11,705,537
繰越損益金	△ 2,903	△52,895,843

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2017年10月13日～2018年4月12日)は以下の通りです。

項 目	2017年10月13日～ 2018年1月12日	2018年1月13日～ 2018年4月12日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	28,895,805円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	80,414円	86,521円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	12,834,157円	11,705,537円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	41,810,376円	11,792,058円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	490円	150円
g. 分配金	28,962,992円	0円
h. 分配金(1万口当たり)	340円	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

	第10期	第11期
1 万口当たり分配金 (税込み)	340円	0円

○お知らせ

約款変更について

2017年10月13日から2018年4月12日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

運用体制の変更について

2017年10月13日から2018年4月12日までの期間に実施いたしました運用体制の変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申しあげます。

ニューバーガー・バーマン・インベストメント・ファンズ・ピーエルシー
 — ニューバーガー・バーマン・ユーエス・スモールキャップ・イントリンシック・バリュース・ファンド

投資明細表

損益を通じて公正価値評価される金融資産

2016年12月31日現在

銘柄	株数		公正価値 米ドル	純資産に 占める割合 (%)
	株式	94.94%		
	米ドル			
Acadia Healthcare Co Inc	8,000		264,800	0.36
Accuray Inc	132,123		607,766	0.82
Axiom Corp	40,796		1,093,333	1.47
Aerovironment Inc	33,382		895,639	1.20
Allscripts Healthcare Solutions Inc	107,275		1,095,278	1.47
Analogic Corp	6,800		564,060	0.76
ARRIS International Plc	67,063		2,020,608	2.71
Atlantic Power Corp	116,149		290,372	0.39
Avery Dennison Corp	19,246		1,351,454	1.81
Avis Budget Group Inc	33,750		1,237,950	1.66
BankUnited Inc	27,395		1,032,517	1.38
Brocade Communications Systems Inc	24,794		309,677	0.41
CEVA Inc	15,468		518,951	0.70
Charles River Laboratories International Inc	24,262		1,848,522	2.48
Ciena Corp	60,295		1,471,801	1.98
Clean Harbors Inc	20,000		1,113,000	1.49
Cliffs Natural Resources Inc	114,583		963,643	1.29
Comerica Inc	18,801		1,280,536	1.72
CoreLogic Inc	45,773		1,685,820	2.26
Covanta Holding Corp	59,189		923,348	1.24
Covisint Corp	86,514		164,377	0.22
Crocs Inc	50,217		344,489	0.46
Crown Holdings Inc	30,962		1,627,672	2.18
Cypress Semiconductor Corp	58,994		674,891	0.91
Danaos Corp	49,729		131,782	0.18
Deckers Outdoor Corp	9,750		540,053	0.72
DST Systems Inc	8,836		946,777	1.27
Dynegy Inc	32,969		278,918	0.37
Dynegy Inc Preferred	5,400		335,556	0.45
Express Inc	45,308		487,514	0.65
FireEye Inc	54,600		649,740	0.87
Fluidigm Corp	42,050		306,124	0.41
FormFactor Inc	69,058		773,450	1.04
Haemonetics Corp	9,500		381,900	0.51
Harsco Corp	55,353		752,801	1.01
Huntington Bancshares Inc	132,261		1,748,490	2.35
II-VI Inc	15,466		458,567	0.62
Infinera Corp	136,751		1,161,016	1.56

投資明細表（続き）

銘柄	株数		公正価値 米ドル	純資産に 占める割合 (%)
	株式	94.94% (続き) 米ドル (続き)		
Intersect ENT Inc	22,400		271,040	0.36
ION Geophysical Corp	7,771		46,626	0.06
Itron Inc	16,590		1,042,682	1.40
ITT Inc	10,288		396,808	0.53
KBR Inc	69,381		1,157,969	1.55
KEYW Holding Corp	110,025		1,297,195	1.74
Luminex Corp	27,350		553,290	0.74
M/A-COM Technology Solutions Holdings Inc	22,587		1,045,326	1.40
Manitowoc Co Inc	74,508		445,558	0.60
Maxwell Technologies Inc	70,222		359,537	0.48
McDermott International Inc	35,076		259,212	0.35
Mellanox Technologies Ltd	28,957		1,184,341	1.59
Mercury Systems Inc	52,748		1,594,045	2.14
Meritor Inc	56,158		697,482	0.94
Molina Healthcare Inc	17,900		971,254	1.30
MoneyGram International Inc	62,767		741,278	1.00
NeuStar Inc Class A	54,666		1,825,844	2.45
New York & Co Inc	29,900		67,873	0.09
NRG Energy Inc	50,194		615,379	0.83
Nuance Communications Inc	102,841		1,532,331	2.06
Office Depot Inc	114,840		519,077	0.70
Ormat Technologies Inc	19,496		1,045,376	1.40
OSI Systems Inc	11,358		864,571	1.16
Owens Corning	13,558		699,051	0.94
Quantum Corp	88,271		73,450	0.10
Rambus Inc	116,835		1,608,818	2.16
Restoration Hardware Holdings Inc	17,800		546,460	0.73
Ryder System Inc	14,604		1,087,122	1.46
Seachange International Inc	79,372		182,556	0.25
Select Comfort Corp	25,575		578,506	0.77
Silver Spring Networks Inc	59,430		791,013	1.06
Sonus Networks Inc	71,038		447,539	0.60
Spirit AeroSystems Holdings Inc Class A	18,950		1,105,733	1.48
TCF Financial Corp	71,057		1,392,007	1.87
Teledyne Technologies Inc	6,000		738,000	0.99
TETRA Technologies Inc	105,508		529,650	0.71
Texas Capital Bancshares Inc	14,070		1,103,088	1.48
Textron Inc	16,329		792,936	1.06
TiVo Corp	76,851		1,606,186	2.16
Twin Discount Inc	17,246		251,791	0.34

投資明細表 (続き)

銘柄	株数		公正価値 米ドル	純資産に 占める割合 (%)
	株式	94.94% (続き)		
	米ドル (続き)			
Ultratech Inc	66,735		1,600,305	2.15
Valmont Industries Inc	4,560		642,504	0.86
Veeco Instruments Inc	40,137		1,169,993	1.57
VeriFone Systems Inc	27,078		480,093	0.65
Verint Systems Inc	53,239		1,876,675	2.52
Viavi Solutions Inc	70,632		577,770	0.78
株式合計*			70,748,532	94.94
銘柄	株数		公正価値 米ドル	純資産に 占める割合 (%)
	不動産投資信託	1.47%		
	米ドル			
Communications Sales & Leasing Inc	28,650		727,996	0.97
InfraREIT Inc	20,700		370,737	0.50
不動産投資信託合計*			1,098,733	1.47
投資合計			71,847,265	96.41
損益を通じて公正価値評価される金融資産合計			71,847,265	96.41
損益を通じて公正価値評価される金融資産純額			71,847,265	96.41
その他の純資産			2,676,726	3.59
投資主に帰属する純資産			74,523,991	100.00
ポートフォリオ分析			米ドル	資産合計に 占める割合 (%)
* 公認証券取引所で上場されている譲渡可能証券および/または短期金融商品			71,847,265	95.99
投資合計			71,847,265	95.99

ニューバーガー・バーマン・インベストメント・ファンズ・ピーエルシー
 — ニューバーガー・バーマン・ユーエス・スモールキャップ・イントリンシック・バリュ어・ファンド

損益計算書

2016年12月31日に
 終了した年度
 米ドル

収益

受取利息	7,624
受取配当金	342,589
その他の収益	301
損益を通じて公正価値評価される金融資産および金融負債にかかる純利益（損失）	7,435,628
収益合計	7,786,142

費用

運用報酬	480,092
販売費用	39,190
管理報酬	88,914
コミットメント・フィー	2,480
保管費用	24,845
専門家報酬	37,694
取締役報酬	666
取引費用	101,982
設立費用	—
監査報酬	14,061
付加価値税払戻金	(120)
その他の費用	4,551
費用免除	(46,164)
費用合計	748,191

金融費用

当座借越費用	647
金融費用合計	647

源泉徴収税 101,513

運用による投資主に帰属する利益（損失） **6,935,791**

ユナイテッド日本債券ベビーファンド（適格機関投資家向け）

第16期

決算日 2018年3月26日

（計算期間：2017年3月28日～2018年3月26日）

○ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／債券
運用会社	日本アジア・アセット・マネジメント株式会社
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ユナイテッド日本債券マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます）の受益証券への投資を通じて、主としてわが国の債券に投資します。 ・信託財産の効率的な運用に資するため、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。
主要投資対象	マザーファンドを主要投資対象とします。
組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への実質投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の20%以下とします。 ・外貨建資産への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。 ・投資信託証券（マザーファンド受益証券は除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2018年3月26日現在）

項目	当期末	円
(A) 資産	172,451,298	
コール・ローン等	9,691,542	
ユナイテッド日本債券マザーファンド(評価額)	162,759,756	
(B) 負債	7,306,188	
未払信託報酬	187,884	
未払利息	26	
その他未払費用	7,118,278	
(C) 純資産総額(A－B)	165,145,110	
元本	154,532,518	
次期繰越損益金	10,612,592	
(D) 受益権総口数	154,532,518口	
1万口当たり基準価額(C/D)	10,687円	

(注) 当ファンドの期首元本額は242,502,864円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は87,970,346円です。

(注) 1口当たり純資産額は1,0687円です。

○損益の状況（2017年3月28日～2018年3月26日）

項目	当期	円
(A) 配当等収益	△ 7,231	
支払利息	△ 7,231	
(B) 有価証券売買損益	1,319,884	
売買益	661,655	
売買損	658,229	
(C) 信託報酬等	△ 7,556,346	
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	△ 6,243,693	
(E) 前期繰越損益金	△ 189,030	
(F) 追加信託差損益金	17,045,315	
(配当等相当額)	(15,968,604)	
(売買損益相当額)	(1,076,711)	
(G) 計(D+E+F)	10,612,592	
次期繰越損益金(G)	10,612,592	
追加信託差損益金	17,045,315	
(配当等相当額)	(15,968,604)	
(売買損益相当額)	(1,076,711)	
分配準備積立金	3,216,601	
繰越損益金	△ 9,649,324	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年3月28日～2018年3月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 24	% 0.215	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(12)	(0.108)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(2)	(0.022)	口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(9)	(0.086)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	379	3.466	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(ー)	(ー)	海外における保管銀行に支払う有価証券の保管および資金の送金・資産の移転等に係る費用
(監 査 費 用)	(29)	(0.262)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(15)	(0.135)	運用報告書作成に係る費用
(そ の 他)	(336)	(3.068)	計理業務費用、法律顧問および税務顧問費用、その他費用・手数料等
合 計	403	3.681	
期中の平均基準価額は、10,944円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 「その他費用」には、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（受益証券等の管理事務、監査費用、法律顧問・税務顧問への報酬費用等）、それらに付随する消費税等相当額などを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) (ー) は該当がないことを示します。

○組入資産の明細

(2018年3月26日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ユナイテッド日本債券マザーファンド	千口 170,160	千口 126,141	千円 162,759

ユナイテッド日本債券マザーファンド

第34期

決算日 2018年3月26日

(計算期間：2017年9月26日～2018年3月26日)

○ファンドの概要

運用会社	日本アジア・アセット・マネジメント株式会社
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主としてわが国の発行する債券を中心に投資を行い、NOMURA-BPI総合指数を上回る運用成果を目指します。 ・わが国のファンダメンタルズ、金利動向などの分析・評価に基づき、デュレーションをアクティブに変更し、収益の獲得を目指します。 ・AA格以上の格付けを有する債券を中心に投資適格債券に投資し、信用リスクの低減を図ります。 ・債券の組入比率は原則として高位を保ちます。ただし、資金化への対応や投資環境を考慮した上で委託者が適切と判断した場合には、機動的に対応する場合があります。
主要投資対象	わが国の債券を主要投資対象とします。
組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年3月26日現在)

項目	当期末 円
(A) 資産	162,760,908
コール・ローン等	4,646,114
公社債(評価額)	157,770,700
未収利息	344,094
(B) 負債	12
未払利息	12
(C) 純資産総額(A－B)	162,760,896
元本	126,141,019
次期繰越損益金	36,619,877
(D) 受益権総口数	126,141,019口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,903円

(注) 当ファンドの期首元本額は141,672,741円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は15,531,722円です。

(注) 2018年3月26日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・ユナイテッド日本債券ベビーフンド(適格機関投資家向け) 126,141,019円

(注) 1口当たり純資産額は1,2903円です。

○損益の状況 (2017年9月26日～2018年3月26日)

項目	当期 円
(A) 配当等収益	1,253,228
受取利息	1,254,433
支払利息	△ 1,205
(B) 有価証券売買損益	△ 934,600
売買損	△ 934,600
(C) 当期損益金(A+B)	318,628
(D) 前期繰越損益金	40,769,527
(E) 解約差損益金	△ 4,468,278
(F) 計(C+D+E)	36,619,877
次期繰越損益金(F)	36,619,877

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年9月26日～2018年3月26日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2018年3月26日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	140,000	157,770	96.9	—	58.6	32.1	6.2
合 計	140,000	157,770	96.9	—	58.6	32.1	6.2

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第293回利付国債 (10年)	1.8	10,000	10,045	2018/6/20
第319回利付国債 (10年)	1.1	50,000	52,306	2021/12/20
第87回利付国債 (20年)	2.2	50,000	59,011	2026/3/20
第145回利付国債 (20年)	1.7	30,000	36,408	2033/6/20
合 計		140,000	157,770	